

陰陽五行論壇Contents

格法

格法(かくほう)

入格者の運をよむ場合のポイント

1	後天運に吉星が廻っている場合	格の現象が大きい。
2	後天運に凶星が廻っている場合	格の条件を壊す要素となり破格となる。
3	宿命が純粹に入格している場合	上格。最も純粹に格の現象が現れる
4	干合、支合、半会等、変化することによって入格した場合	下格。格が脆く壊れやすい。

※下格であったとしても、格に入らない人とは比較にならない程格としての特徴が現れる。

従化五格の共通ポイント

1. 宿命上の条件(原則※)

- ① 貫索星・石門星がないこと
(五方向の何処でも)
 - ② 身弱であること
 - ③ 日干が無根であること
- } 自我が無い人

2. 従う格。環境に従い、逆らわない生き方で現象が確立。
3. 肉親縁は薄くなる場合が多く、一家の「犠牲」になる事もある。
4. 入格者は社会的成功が凡人を遥かに上回る。

※原則であり、条件に完全合致してなくとも入格と判断する場合もある。

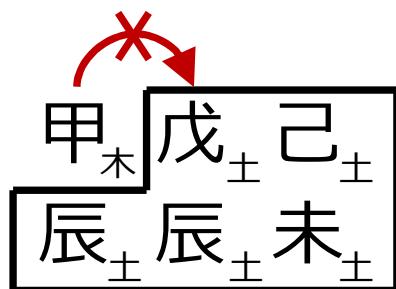
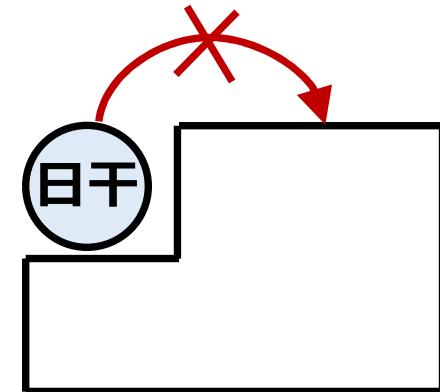
従化五格～1.従財格(じゅうざいかく)

【条件】

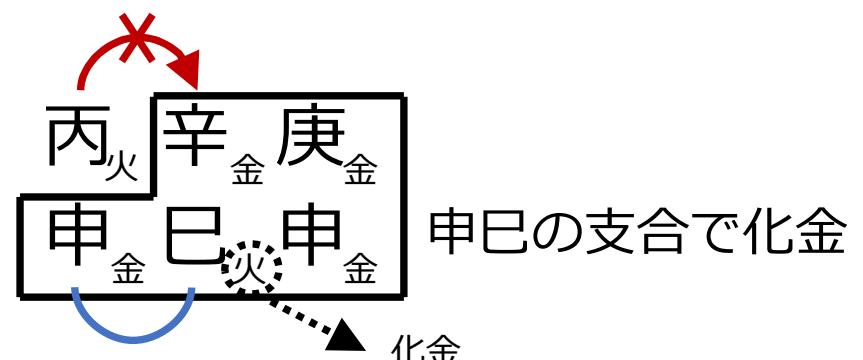
- ・ 従化五格に共通の宿命条件三つ。
- ・ 日干が他の全ての干支を剋す形になる。

※ 日干から剋する形は禄存星・司禄星が出るが
従財格では、宿命全体がこの形になっている。

※ 後天運に冲・刑・害・破が廻り、地支のどこかが
壊される時は、破格となる。



日干が他の全てを
剋している形。



申巳の支合で化金

【現象】

- ・ 本人の努力に関係なく財を手にすることができる。

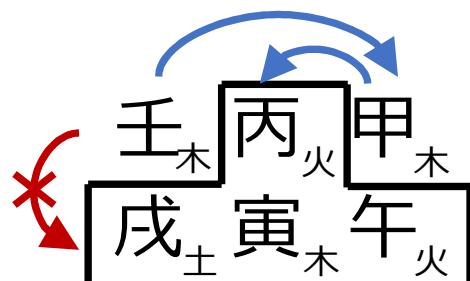
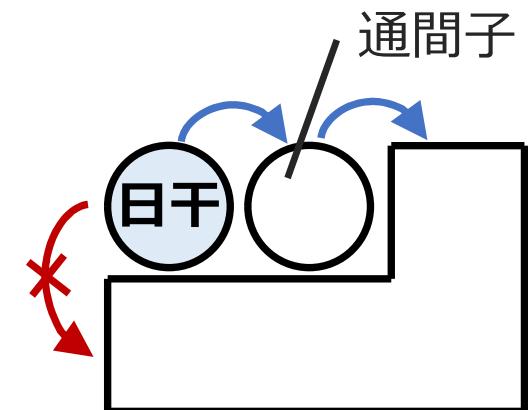
従化五格～2.従生財格(じゅうせいざいかく)

【条件】

- ・ 従化五格に共通の宿命条件三つ。
- ・ 日干が他の干支を剋す形になるが
一つだけ洩気になっている(通間子)。

※洩気となる場所は、天干、地支を問わない。

※通間子が後天運で壊されると凶になる。



- ・ 甲があることによって
水→木→火と気が流れるようになる。
- ・ 地支は寅午戌の三合会局により化火。

【現象】

- ・ 本人の努力により、財を手にする。
- ・ 財は火性から土性に向かった方が大きな財となる。

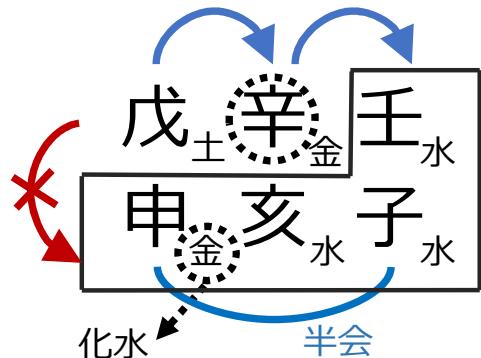
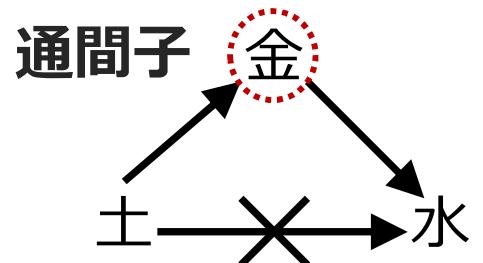


努力を要するが、従財格よりも
大きな財運に恵まれる。

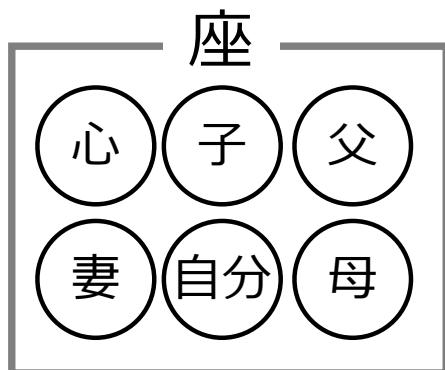
従化五格～2.従生財格(じゅうせいざいかく)

【例】木村拓哉さん 1972年11月13日

- ・従生財格に入格。但し、西方貫索星があり破格。
- ・月干の辛が通間子の役割を果たしている。



	禄存星	天報星
貫索星	車騎星	司禄星
天胡星	調舒星	天馳星

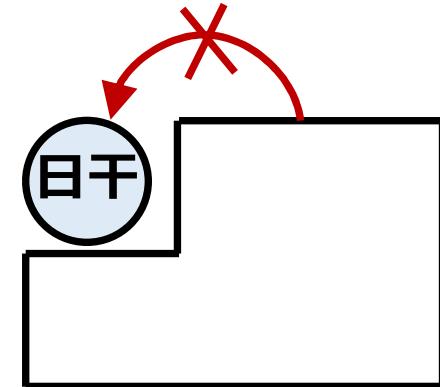


辛は子供の位置に座している
→子供・目下の存在がポイント

従化五格～3.従官格(じゅうかんかく)/従殺格(じゅうさつかく)

【条件】

- ・ 従化五格に共通の宿命条件三つ。
- ・ 日干が他の全ての干支から
剋される形になる。
※ 日干から剋される形は車騎星・牽牛星が出るが
従官格・従殺格では、宿命全体がこの形になっている。
- ・ 陽占の主星が牽牛星だと従官格、車騎星だと従殺格。



	牽牛星	

従官格
(文官)

	車騎星	

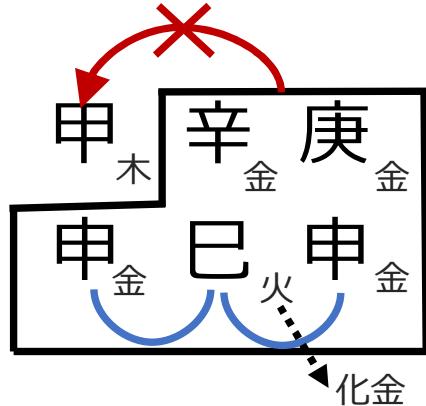
従殺格
(武官)

【現象】

- ・ 集団や組織に従うことで名誉・名声を得る。
- ・ 自己の命を捨てても、大義名分を取る人となる。
- ・ 組織・集団に身を預ける→軍人・武官の最高格。
- ・ 車騎・牽牛=名誉、役目の星→役目を生きる事で評価を得る。

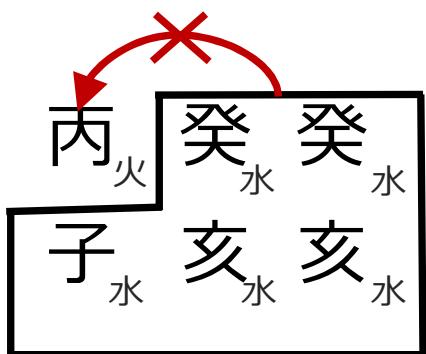
従化五格～3.従官格(じゅうかんかく)/従殺格(じゅうさつかく)

【例1】従官格



	車騎星	天報星
牽牛星	牽牛星	牽牛星
天報星	車騎星	天報星

【例2】従殺格



	牽牛星	天馳星
牽牛星	車騎星	車騎星
天報星	牽牛星	天馳星

従官格/従殺格にとって、日干以外の五行が剋される時は凶。

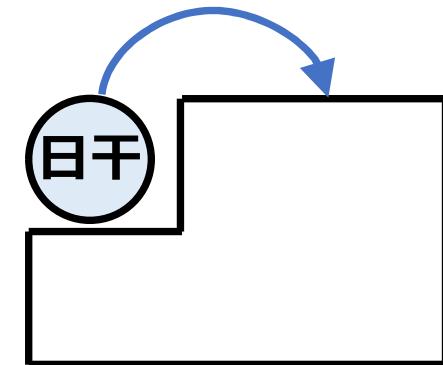
- ・例1の場合: 火→金 ……> 丙・丁
- ・例2の場合: 土→水 ……> 戊・己

従化五格～4.従生格(じゅうしょうかく)

【条件】

- ・ 従化五格に共通の宿命条件三つ。
- ・ 日干が他の全ての干支を生じる形になる。

※ 日干から生じる形は鳳閣星・調舒星が出るが従生格では、宿命全体がこの形になっている。



【現象】

- ・ 教育、芸術、人助けの格→財を得る。
- ・ 自己のエネルギーを全て出し切る事で、運が伸びる。
- ・ 後天運で龍高星・玉堂星が廻る時は注意が必要。
一点の水で命の危険、二点の水では三代先迄に家が潰れる(未来が壊される)と云われている。

大運 龍高 } 一点の水 }
年運 玉堂 } 二点の水 }

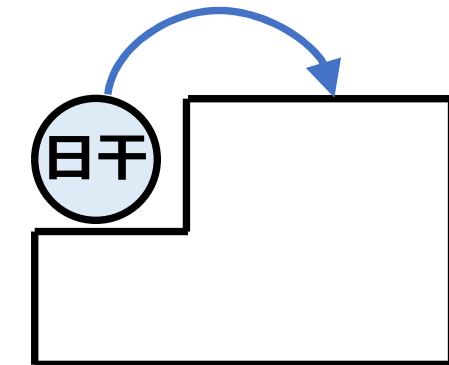


従生格は宿命全体が
鳳閣・調舒の様なもの

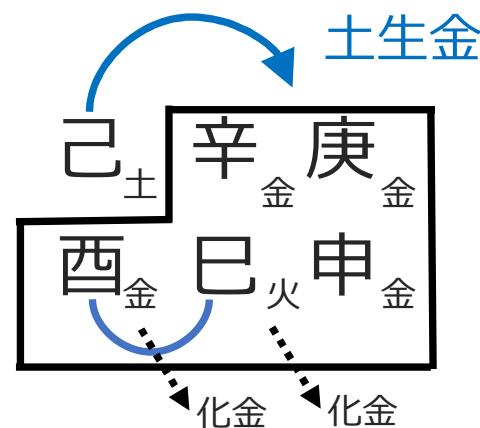
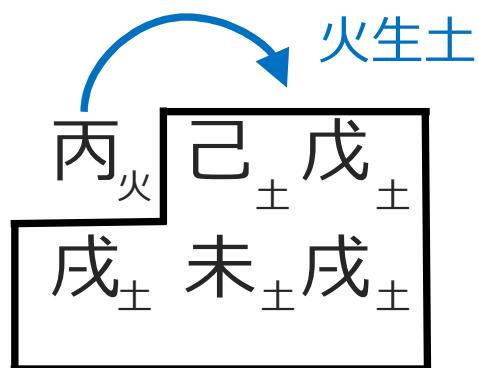
従化五格～4.従生格(じゅうしょうかく)

【条件】

- ・ 従化五格に共通の宿命条件三つ。
- ・ 日干が他の全ての干支を生じる形になる。



※ 日干から生じる形は鳳閣星・調舒星が出るが
従生格では、宿命全体がこの形になっている。



従化五格～4.従生格(じゅうしようかく)

【現象】

- 教育、芸術、人助けの格
→このような生き方をすることによって財を得る。



- 自己のエネルギーを全て出し切る事で、運が伸びる。
- 後天運で龍高星・玉堂星が廻る時は注意が必要。
一点の水で命の危険、二点の水では三代先迄に家が
潰れる(未来が壊される)と云われている。

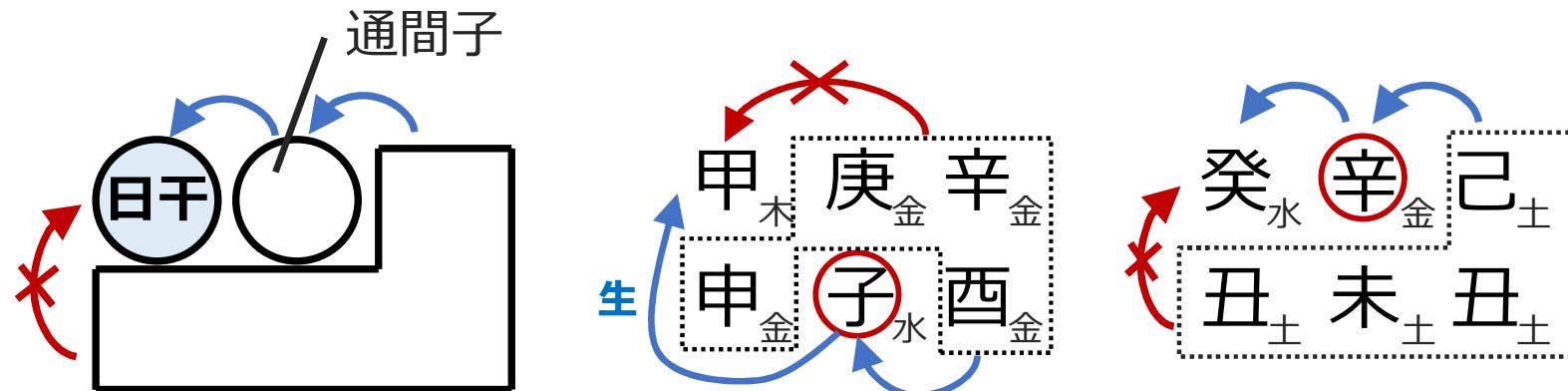


従化五格～5.官印相生格/殺印相生格

(かんいんそうじょうかく) (さついんそうじょうかく)

【条件】

- ・ 従化五格に共通の宿命条件三つ。
- ・ 日干の周囲に一点の生氣があり(通間子)
他は全て剋氣に取り囲まれた形
※洩氣となる場所は、天干、地支を問わない。



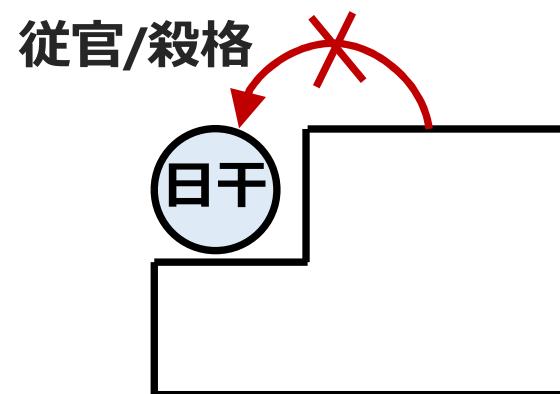
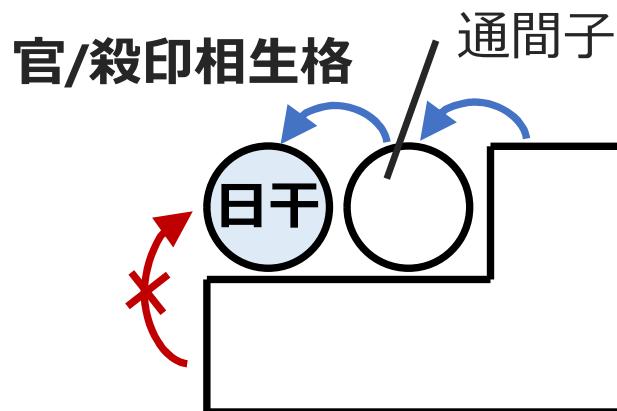
- ・ 官印相生格 / 殺印相生格 官/殺(金性)と印(水性)の組み合わせ
- ↓
金性 (牽牛) + 水性
- ↓
金性 (車騎) + 水性
- 官印相生格
- | | | |
|--|-----|--|
| | | |
| | 牽牛星 | |
| | | |
- 殺印相生格
- | | | |
|--|-----|--|
| | | |
| | 車騎星 | |
| | | |

従化五格～5.官印相生格/殺印相生格

(かんいんそうじょうかく) (さついんそうじょうかく)

【現象】

- 自己の努力(この場合は勉強する事=龍高・玉堂)で、名譽・名声を掴む。行動は全て、従的に動く事で伸びる。
- 一点の相生が無ければ従官格か従殺格になる。
一点の相生(知性・水性)がポイントとなり、勉強の努力とアイデアを搾り出すことで、無理なく行動力のある働き者になり、名譽名声を得ていく。



- 後天運で通間子が七殺になるときに凶。

辛巳
癸未
丁丑
大運・年運

部分格～1.福德秀氣格(ふくとくしゅうきかく)

【条件】

- ・ 日干が陰干(乙、丁、己、辛、癸)であること。
 - 日干によって五種類に分類される。

福德秀氣格	乙	陰木格
	丁	陰火格
	己	陰土格
	辛	陰金格
	癸	陰水格

- ・ 日支に巳・酉・丑のいずれかであること。
- ・ 後天運で三合会局(金局)となること。

【現象】

- ・ 入格すると運気の強弱は別にして、相当の福德を得る人生を歩む事となる。

部分格～1.福德秀氣格(ふくとくしゅうきかく)

1-1.陰木格(乙)

【条件】

- 日干が乙巳・乙酉・乙丑の何れかで後天運を含めて三合金局となる人。



【現象】

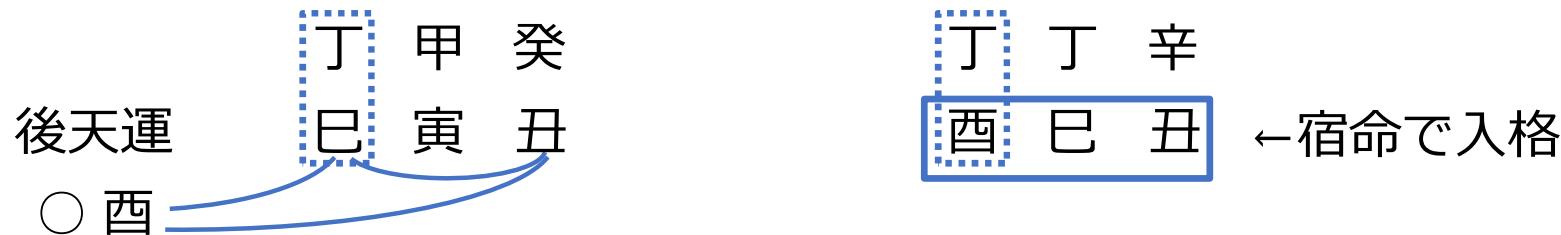
- 大運で、玉堂星・牽牛星が最も吉運(金局に吉)で運勢が一気に伸びる。
- 大運で、車騎星は最凶となり、運勢が一気に落ち込む。
- 大運で、車騎星と天馳星が廻ると、命を落としやすくなる。
- 大運で、天印星(未)のときに、名譽名声を得るか、財に恵まれる。(但し、長続きはしない)

部分格～1.福德秀氣格(ふくとくしゅうきかく)

1-2.陰火格(丁)

【条件】

- 日干が丁巳・丁酉・丁丑の何れかで後天運を含めて三合金局となる人。



【現象】

- 大運で、玉堂星・牽牛星が最も吉運(金局に吉)となる。
- 大運で、酉が回ると最凶運となり、命を落しやすくなる。
- 大運で、子が回ると、短命となり、刺激物(酒・色事・麻薬等)で身を滅ぼし易くなる。

部分格～1.福德秀氣格(ふくとくしゅうきかく)

1-3.陰土格(己)

【条件】

- 日干が己巳・己酉・己丑の何れかで後天運を含めて三合金局となる人。



【現象】

- 大運で壬・癸・亥・子は吉となる。(土→水で財運を得る)
- 大運で丙・丁・巳・午・未は凶となる。
※火性と土性过多で甘やかされ、財に苦労する。
但し、宿命の中に巳がない場合は入格する。
- 若年期は人生が多成多敗となりやすく、立身出世は晩年となる。(日干土性は晩年期運が多い)

部分格～1.福德秀氣格(ふくとくしゅうきかく)

1-4.陰金格(辛)

【条件】

- 日干が辛巳・辛酉・辛丑の何れかで後天運を含めて三合金局となる人。



【現象】

- 宿命全体で金性が強く攻撃的な質となる。
- 日干「辛金」の本質は常に脆さがあり、大運で火性の廻る巳※・午・未の夏の季節が凶運となる。(火≠金)
(但し、丙・丁は凶とならない。
→天干よりも地支からの剋戦で土台が崩れるから)

※宿命の中に巳がない場合は入格する。

部分格～1.福德秀氣格(ふくとくしゅうきかく)

1-5.陰水格(癸)

【条件】

- 日干が癸巳・癸酉・癸丑の何れかで後天運を含めて三合金局となる人。



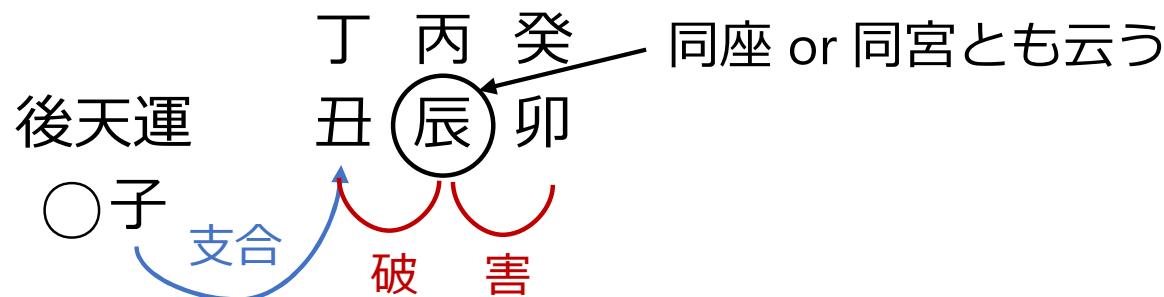
【現象】

- 大運で、南方火地が凶となる。
- 巳月生まれは、別格(臨風位)となり、最凶運となる。
 - 臨風位とは、一生を空虚に過ごす人、目的があっても出来ない人自分が自分に負けるような人などの意味。臨風位は、何代も続いた家系の最後に出やすく、家系の終末を司る人となる。

部分格～2.破官格(はかんかく)

【条件】

- 宿命に破と害の同時所有。
- 人体星図に司禄星・禄存星・牽牛星・玉堂星が無いこと。



【現象】

- 後天運で破の部分が壊れたときに、思わぬ成功をする。上の例では、大運で子が廻り、子-丑の支合で丑-辰の破が壊れている。

【雑学】

破は融合条件と組むと無効となり、分離条件と組むと×2になる。

部分格～3.冲禄格(ちゅうろくかく)

【条件】

- 宿命の年支と月支が同じ。
- 日干からみて年支と月支に天馳星が表出し
晩年期が天禄星ではないこと。
- 宿命中に支合と半会がないこと。



【現象】

- 入格すると財運が見事に伸びる人、財運の強い人になる。
- 上記条件で晩年期に天禄星が出る場合は、逆に財を失いやすい。

部分格～4.八專祿旺格(はっせんろくおうかく)

【条件】

- ・ 日干が八專(49番～60番)で、かつ日支に天祿星が表出すること。
 - この条件に該当するのは、甲寅・乙卯・庚申・辛酉の四種類。これらのうちのどれかが日干支であること。
- ・ 宿命中に冲・害・刑が無いこと。

甲	癸	丁	庚	壬	戊	甲
子	寅	卯	亥	申	酉	辰
丑			午			寅

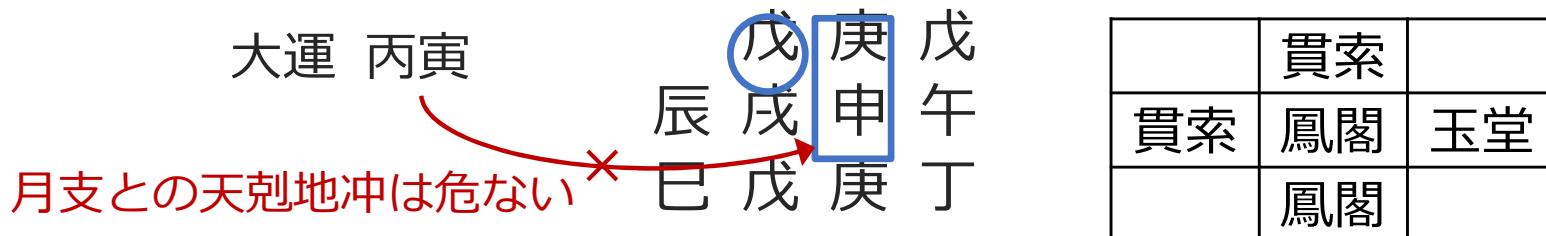
【現象】

- ・ 入格すると、無病で長命となる。
- ・ また大運で祿存星・司祿性が廻るとき、専祿運と云い福分(心の安寧)と祿分(財)が得られる。

部分格～5.専食合祿格(せんしょくごうろくかく)

【条件】

- ・ 日干が戊で月干支が庚申であること。
- ・ 宿命の月支に冲・刑・害が無く、庚が干合されないこと。
- ・ 丙と甲が透干していないこと(日干の戊と七殺となるから)



【現象】

- ・ 入格すると、どんなことがあっても食べることに困らない。人並み以上の生活を維持することが出来る。特に晩年期の成功が大きい。
- ・ 大運で月支の庚申に対して天剋地冲が廻るとき、家系の断絶や子供の死、または天涯孤独になる可能性がある。

部分格～6.専印合祿格(せんいんごうろくかく)

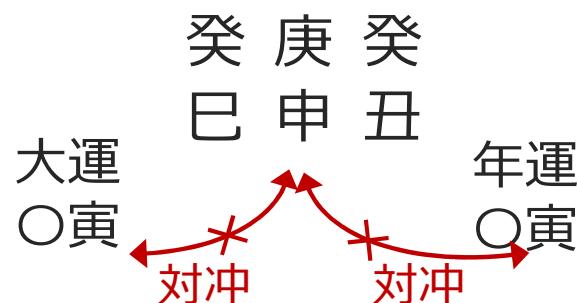
【条件】

- ・ 日干が癸で月干支が庚申であること。
- ・ 宿命の月支が冲・刑・害が無く
庚が干合されないこと。

癸巳 庚申 癸丑

【現象】

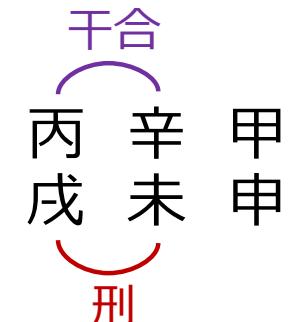
- ・ 入格すると、粘り強い運勢となる。若年期に苦労が多くとも、晩年に大きな成功をしていく。長寿の宿命となる。
- ・ 大運の寅と年運の寅で二重冲動が廻ると、座して天命を待つようになる。座して天命を待つとは、病に倒れてから5年～10年と病気にかかるても、すぐには死に切れない状態のこと。



部分格～7. 千合支刑格(かんごうしけいかく)

【条件】

- ・ 日干が他の干と干合し、その支が刑となること。
- ・ 日干が陽干であること(陰干は準格となる)。



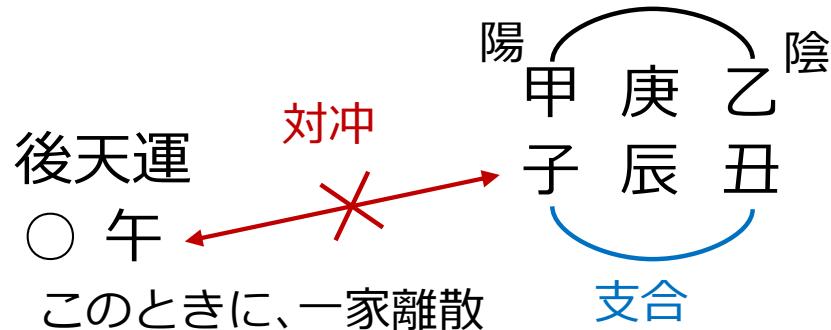
【現象】

- ・ 入格すると、色事の因縁を背負うとされている。
- ・ 生活が派手になったり、実力が伴わぬいうちから酒色に溺れることになる。従って家運を一代で潰すと云われている。(近い先祖に成功者がいる場合が多い)
※色事とは、女性であれば男性で身を滅ぼし、男性であれば女性で身を滅ぼすこと。
- ・ 世の中の裏側を歩む事で影響が少なくなる。
- ・ 後天運で格に入る場合、特に女性は結婚を避けること。
男性は仕事が上手くいかなくなるので、ひとまず第一線から退くことが改良方法となる。

部分格～8.子午双連格(ねうまそうれんかく)

【条件】

- 宿命の日干と他の天干が、陰陽(又は陽陰)の関係となり
その陰陽となつた天干の十二支が、支合していること。



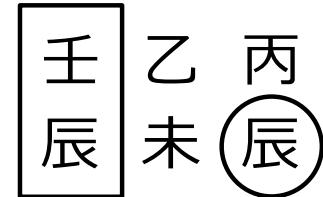
【現象】

- 入格すると、親・兄弟・配偶者・子供達と一緒にになって家系を盛り立てていく人となる。
- 欠点として、一家の一人が病気等をすると、一家中の運が狂ってしまったり、一人が何か失敗をすると全員にまで多大な影響を与える。
- 格が対冲・刑・害等で壊れる場合は、まとまりのあった一家が離散してしまう。

部分格～9.壬騎龍背格(じんきりゅうはいかく)

【条件】

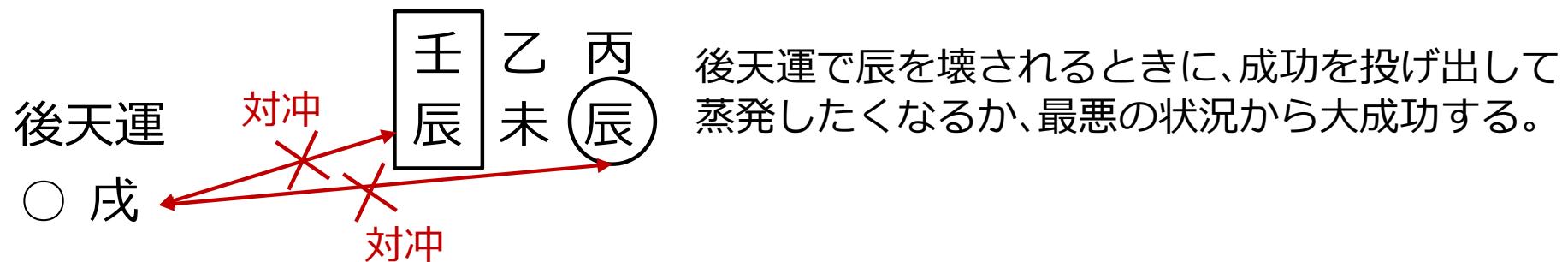
- 宿命の日干支が壬辰で
他の十二支に辰があること。



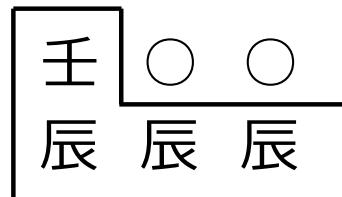
【現象】

- 「幸運中の不運」または「不運中の幸運」とも云われ、運勢が上があれば上がる程、本人にとって重荷となってしまい突然蒸発したくなってしまう。別名を蒸発の格とも云い蒸発人間に多い。
 - 男性・女性を問わず知能指数が高く、芸術・文学等の分野で才能を發揮しやすくなる。
 - 女性は平和で安定した家系から生まれやすく、結婚相手は家柄の悪い人となりやすい。
 - 男性は自分より良い家柄の人と結婚しやすくなる。
 - 特に女性は、親の反対する結婚に進むことが多くなる。
- * 改良方法は、身旺(天将・天禄・天南)の配偶者を持つこと。

部分格～9.壬騎龍背格(じんきりゅうはいかく)



- この格の名前の由来は、龍の背の上に乗って人生を急上昇したり、急下降する様を表している。
急上昇した場合、架空の動物である龍が怖くなりそこから逃げ出そうとしてしまうのである。
- 宿命中に辰が三個出た場合を三奇格と云い、この場合運勢が下がっている場合でも蒸発したくなることがある。
※但しこれは、守護神・忌み神法の判定を加えて判断する必要がある。



←三奇格と云い、一種の奇人となり、奇才を發揮する。

部分格～10.丑遙巳祿格(ちゅうとうみろくかく)

【条件】

- 宿命の日干支が癸丑または辛丑であること。
- 月支または年支に巳があること(丑-巳の半会)。
- 後天運で巳が巡ると準格として入格する。

癸 乙 丁	辛 乙 癸
丑 巳 卯	丑 卯 巳
(半会)	(半会)

【現象】

- 入格すると、肉親縁者の助けが多く、福分(心の安寧)
・祿分(財)・官分(名譽名声・権力)の三徳が揃う人となる。
- ただし、日干癸丑の人で大運が北方回りは吉、南方回りは凶となる。
- 日干辛丑の人で大運が西方回りは吉、南方回りは凶となる。

部分格～11.天干連珠格(てんかんれんじゅかく)

【条件】

- 宿命の天干が年→月→日と相生関係になっていること。
- 天干が干合していないこと。
- 生月・生年天中殺が無いこと。

庚 戊 土 火

戌 戌 申

丙 戌 木 水

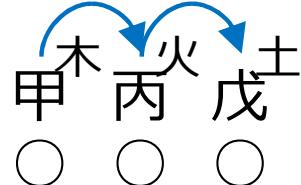
戌 子 巳

【現象】

- 入格すると、物事が始まるべきときに始まり、終わるべきときに終わる人となる。物事の順序が正しい人。
- 最後の最後に窮地に立たされても、何処かで救いのある人。
- ランクがあり、全ての干が陽干のものが最上格となる。

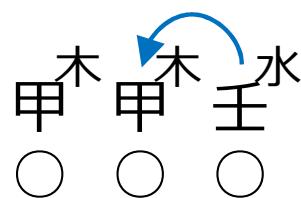
1	全干陽干
2	陰陽混在で日干が陽干
3	陰陽混在で日干が陰干
4	全干陰干

部分格～11.天干連珠格(てんかんれんじゅかく)

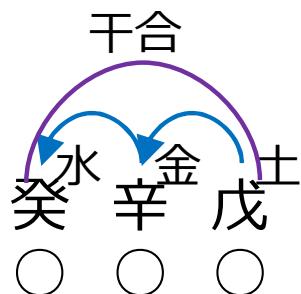


「逆連珠」

救いが少なく、常に人のために生きることとなり、苦労が絶えない。



今一步、助けが届かない。

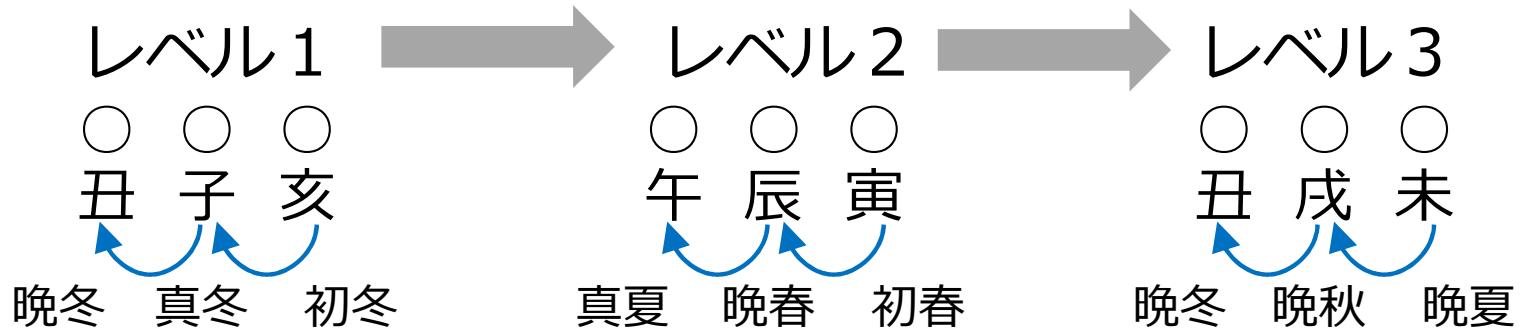


救いは来るが、心に迷いが起こり(干合)
救いにならない。

部分格～12.地支連珠格(ちしれんじゅかく)

【条件】

- 宿命の地支が年→月→日と季節が順回りになっていること。
- 但し、一つ置きの場合、又、二つ置きの場合でも準格として入格する。
- 生月・生年天中殺がないこと。



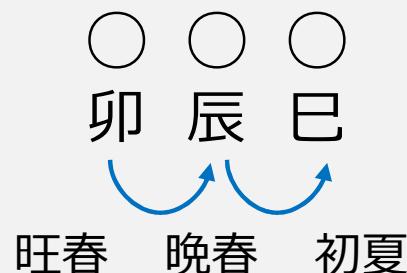
【現象】

- 入格すると、自分の願いごとがまとまりやすく、自分の努力が叶えられる人となる。
(但し、努力をしなくては叶えられない)
- 努力をすると、自分一代で成功し、名門と言われるような家庭の土台を作ることになる。(初代運・基礎作りの人)

部分格～12.地支連珠格(ちしれんじゅかく)

- 宿命の十二支が、日干から逆に月・年と生じている場合は架空の家(幻のような家庭)を作る人となる。

地支連珠格～逆の場合



規格外の型

プラスに働くと

平社員から社長へ大抜擢
良家へ養子にもらわれる

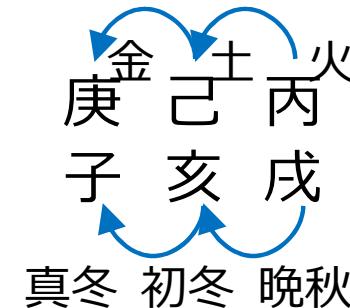
マイナスに働くと

詐欺師となる
会社を乗っ取る

部分格～13.天干地支連珠格(てんかんちしれんじゅかく)

【条件】

- 天干連珠格と地支連珠格を同時に所有している人。



【現象】

- 入格すると、非常に運勢の強い人となる。(別名:大貴格)
- 忌み神が回っても、天中殺の時でも、冲动の時であっても本人に禍が出ない。不運にあわないだけではなく、万一不運にあっても、必ず周囲からの助けがある。
- 五歳位までに、神の淘汰に遭いやすい。
- 福分(心の安寧)と祿分(財)を得る。

【要注意】

- この入格者の近くに居ると、自分の幸運を吸い取られてしまう。エネルギーバランスは等価する原則が働くから。

部分格～14.虎馬奔巳格(とらうまほんみかく)

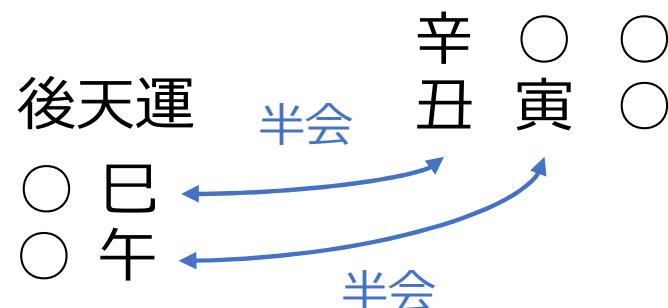
【条件】

- 日干が辛または癸であること。
- 地支に丑、寅があり、巳が無いこと。

辛 乙 戊
丑 卯 辰

【現象】

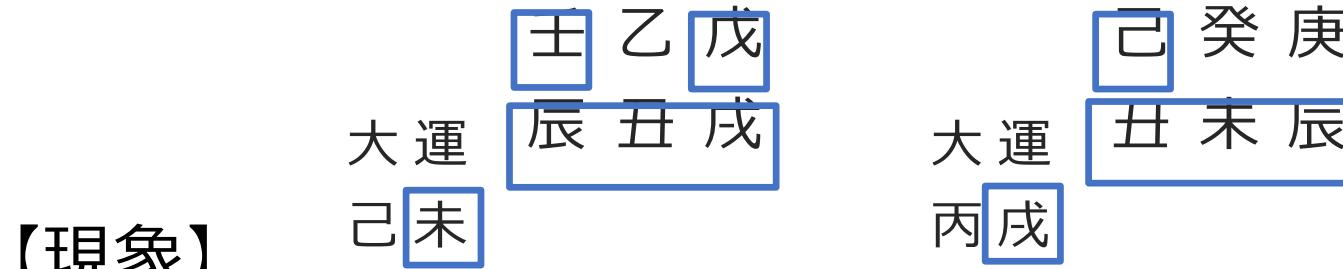
- 大運に巳が廻るとき半会となり、午が廻るときも半会となる要素があり、後天運の巳午で、翻弄される。
- 肉親縁者が少ない場合は、財運の基礎を作り、この人の何代か後の人人が成功者となる。
- 運勢のきっかけを作る人。(初代運)



部分格～15.四鎮貴格(しちんきかく)

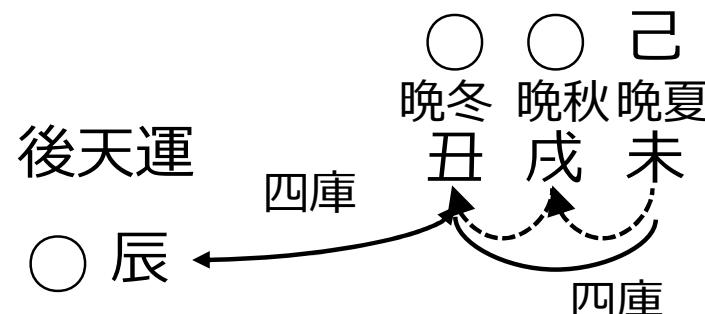
【条件】

- 全ての四庫が、大運を含めてそれぞれ揃うこと。
(但し、天干に土性が透干していることが条件となる)



【現象】

- 入格すると、財運・名譽運を手にすることが出来る。
(特に財運が良い)
- 但し、肉親縁には薄く、孤独を保つ人となる。
- 地支連珠格も併せて存在する場合、「貴人黄枢格(きじん おうすうかく)」と云い、運命の最高格で別格となる(大貴格)。



部分格～16.一気成生格(いっきせいせいいかく)

【条件】

宿命の三柱(年干支、月干支、日干支)が全て同じ干支の人。

三柱同干支ということは、親の世界と家系の世界と本人(配偶者を含)の世界が全て重なってしまうことになる。

従ってこの世で生きる範囲(宇宙盤の領域を示す)が、点で表示されることになる。生きる範囲が非常に狭い人となる。何れにしても凡人の生き方の出来ない宿命条件が与えられているのである。

行動領域が一点のみなので、極端に狭苦しい環境となるか、無限の範囲を生きていくかの両極端となる。

宿命の部分を捉えれば、各柱が律音となる。律音の隣同士を干支圧伏(かんしあっぷく)と云い、それだけでもある種のエネルギーと判断したとえ陽占に身強の十二大従星が表出されていなくとも、凡人には無い底力がある者と判断するのである。

一気成生格は全部で12種類ある(但しテキストでは10種類となっている)。

部分格～25.一氣成生格(いっきせいせいいかく)

戊 戊 戊
午 午 午

戊午 雄貴凶険(ゆうききょうけん)とも云う。

陽占の十二大従星は全て天将星となる。

エネルギーの偏りは生き方の偏りでもあり、幸運不運の両極端が表れる。多くの場合、自らの天将星の大きなエネルギーを使い切れずに終えていく人がほとんどである。もし自らのパワーを上手く使い続けることが出来る場合、長命となり生涯現役で大きな成果を創り出すことになる。しかしパワーを使い切れない場合、身体と精神を壊し、人の役に立たない最悪の人生を過ごす場合もある。

極端に干支が偏り、極端な身強では、ほとばしるエネルギーを使い切れずに夭折する者も多くなる。陽極まれば陰となるの如く、精神世界(宗教)に進むことで吉運となる。

綱渡り的な人生。禄と寿には恵まれ、福には恵まれにくい。

部分格～17.干支時旺格(かんしじおうかく)

【条件】

- 日干と同じ五行に十二支が会局、又は三位になる者。

日干	三合会局	方三位
木性(甲・乙)	亥・卯・未(三合木局)	寅・卯・辰(東方三位)
火性(丙・丁)	寅・午・戌(三合火局)	巳・午・未(南方三位)
金性(庚・辛)	巳・酉・丑(三合金局)	申・酉・戌(西方三位)
水性(壬・癸)	申・子・辰(三合水局)	亥・子・丑(北方三位)
土性(戊・己)	土性の十二支のみになった場合入格する	

木性 乙 巳 癸
卯 未 亥

三合木局

木性 甲 戌 癸
辰 庚 卯

東方三位

土性 戊 巳 癸
戌 未 丑

地支が土性のみ

【現象】

- 無病息災、病むことなし。大病に縁のない人となりやすい。
- 後天運で日干が洩氣となっているときが吉運。
- 後天運で日干が強められるときが凶となる。

部分格～18.一氣格(いっきかく)

【条件】

- ・ 天干地支の全てが同質の気を持つ者。
(注)この一氣格とは五行の質を総称した名称であり、その内容は五行別に分かれしており、更に天干のみ、地支のみに分かれている。また一氣格は五つのランクに分類されている。5ランクの下に準一氣格が存在し、合計6ランクに分類される。

【現象】

- ・ 一氣格の質としては、一匹狼的な運勢となる。
- ・ 自分自身のエネルギーが、ある一点に向かって発揮されることになる。宿命中に五行の質が唯一つしか所有していないので、人間的にも非常に変人的な要素が現われ立派で魅力ある人になるか、社会の除け者になるかの両極端の性情となり易い。
- ・ 平凡な人生は無い。

部分格～18.一氣格(いっきかく)

	陽	陰
十干	甲・丙・戊・庚・壬	乙・丁・己・辛・癸
十二支	寅・巳・申・亥・辰・戌	卯・午・酉・子・丑・未

ランク	種類																				
1位	<p>全陰・全陽で変化しなくても同質の者</p> <table style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>乙</td> <td>乙</td> <td>乙</td> <td>{</td> <td>天干地支共に</td> </tr> <tr> <td>卯</td> <td>卯</td> <td>卯</td> <td>{</td> <td>木性のみ</td> </tr> </table> <table style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>丙</td> <td>丙</td> <td>丙</td> <td>{</td> <td>天干地支共に</td> </tr> <tr> <td>午</td> <td>午</td> <td>午</td> <td>{</td> <td>火性のみ</td> </tr> </table>	乙	乙	乙	{	天干地支共に	卯	卯	卯	{	木性のみ	丙	丙	丙	{	天干地支共に	午	午	午	{	火性のみ
乙	乙	乙	{	天干地支共に																	
卯	卯	卯	{	木性のみ																	
丙	丙	丙	{	天干地支共に																	
午	午	午	{	火性のみ																	
2位	<p>陰・陽が含まれているが、変化しないで同質となる者</p> <table style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>己</td> <td>戊</td> <td>己</td> <td>{</td> <td>天干地支共に</td> </tr> <tr> <td>丑</td> <td>戌</td> <td>丑</td> <td>{</td> <td>土性のみ</td> </tr> </table>	己	戊	己	{	天干地支共に	丑	戌	丑	{	土性のみ										
己	戊	己	{	天干地支共に																	
丑	戌	丑	{	土性のみ																	
3位	<p>十二支が方三位で、宿命が同質になる者</p> <table style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>丁</td> <td>丙</td> <td>丁</td> <td>←</td> <td>天干は火性のみ</td> </tr> <tr> <td>未</td> <td>午</td> <td>巳</td> <td>←</td> <td>地支は方三位(南方)であること</td> </tr> </table>	丁	丙	丁	←	天干は火性のみ	未	午	巳	←	地支は方三位(南方)であること										
丁	丙	丁	←	天干は火性のみ																	
未	午	巳	←	地支は方三位(南方)であること																	

部分格～18.一氣格(いっきかく)

ランク	種類
4位	<p>十二支が三合会局で、宿命が同質になる者</p> <p>辛 辛 辛 ←天干は金性のみ 酉 丑 巳 ←地支は三合会局(金局)であること } 大三合会局であること</p>
5位	<p>十二支支合で、宿命が同質になる者</p> <p>己 戊 戊 ←天干は土性のみ 酉 辰 辰 ←地支は支合変化で土性のみ ↙ ←支合変化で化土となる</p>
準一氣	<p>天干が干合変化にて同質になる者 (地支はどのパターンでも入格する)</p> <p>干合 壬-丁(化木) 丁 甲 壬 ←天干は干合変化して木性のみ 卯 辰 寅 ←地支は方三位(東方)であること</p>

部分格～18.一氣格(いっきかく)

①曲直格(きょくちょくかく) (木性一氣)

【条件】

- 宿命が木性唯一つの五行になる人。



【現象】

- 多くの人生(飲食業と建設業)を同時には歩むことの出来ない人。
- 同じ分野・関連事業において伸びる。
- 一旦、稼働し始めると他人の領域や財産等を合法的に問答無用で得るパワフルさを発揮する。行動するときは猪突猛進型の人。

部分格～18.一氣格(いっきかく)

②炎上格(えんじょうかく) (火性一氣)

【条件】

- 宿命が火性唯一つの五行になる人。

ランク3位

丁 丙 丁
未 午 巳

ランク5位

丙 丁 丁
午 未 未

【現象】

- 集団を形成して人生を渡るが、集団の中の一匹狼となる。一丸となつて進む質があり、周囲の人を巻き込んで人生を渡る。自分の人生に同調する人を好み、同調しない人を嫌う。
- 火性一氣の入格者に近づくのは気を付けること！周囲の人に対する影響が良きにつけ悪しきにつけ強烈となる。

日干=丙→去る者は追わず

日干=丁→相手に火傷を負わせてしまう。傷付けてしまう。

部分格～18.一氣格(いっきかく)

③稼穡格(かしょくかく) (土性一氣)

【条件】

- 宿命が土性唯一つの五行になる人。

ランク1位	ランク2位
己 己 己	己 戊 己
丑 未 丑	丑 戌 丑

【現象】

- 不動産に関して、けじめに欠ける。
- 財産にこだわり、資産作りが上手。
- 日常は一氣格の中で最も平和。
- 一匹狼的な人生を歩む。
- 統率力が出る(特に教育方面に於いて成功しやすい)。

部分格～18.一氣格(いっきかく)

④従革格(じゅうかかく) (金性一氣)

【条件】

- 宿命が金性唯一つの五行になる人。

ランク4位

辛 辛 辛
酉 丑 巳

【現象】

- 戦いの人生となりやすく、人より素早い動きをする。
- 競争心が強く、人々の最先端に立とうとする傾向が出る。
- 名薈名声を求め、また名薈名声や権力を得やすい人となる。
- 「將軍の星」と云い、自己顯示欲の強い人。

部分格～18.一氣格(いっきかく)

⑤潤下格(じゅんかかく) (水性一氣)

【条件】

- 宿命が水性唯一つの五行になる人。

準一氣格

癸 辛 壬
亥 亥 子

【現象】

- 頭が良く、纖細で緻密な頭脳を持つ。
- 自分のことをあまり語ろうとしない、ポーカーフェースとなる。従って、本人が何を考えているか、他者には分からぬ。
- 理論に勝るが、行動力に欠ける。
- 「黒幕の人物」と云われ、本人が前面に出すにフィクサーとして活躍する(補佐官・第一秘書・軍師等)

部分格～19.天干一氣格(てんかんいっきかく)

【条件】

- 宿命の天干が全て同じ質になる者。

【現象】

- 入格すると、考えることはいつも一つで一貫性があるが、行動が多様化する。
- 父方の影響(因縁)を強く受けて生まれる者となる。

参考



天干 = 精神・空間・父

地支 = 現実・時間・母

部分格～19.天干一氣格(てんかんいっきかく)

①木性天干一氣格

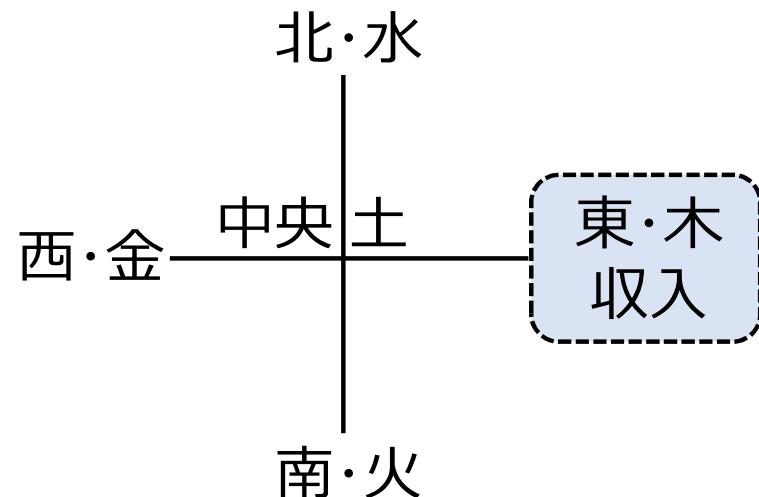
【条件】

- 宿命の天干が、全て木性になる人。

[甲 甲 甲] ←天干が木性のみ
申 午 子

【現象】

- 精神が守備にまとまっている。
- 自分を守る意識が強く出る。
- 経済力に恵まれ、生き方が経済中心になる傾向が強い。



部分格～19.天干一氣格(てんかんいっきかく)

②火性天干一氣格

【条件】

- 宿命の天干が、全て火性になる人。

[丁 丙 丁] ←天干が火性のみ
[- - - -]
巳 子 丑

【現象】

- 精神が伝達にまとまっている。
- 自分を表現する意識が強く出る。
- 司法・情報等の世界で活躍する。
- 危険な行動を犯すような仕事をする(示談屋・スパイ活動等)。
- 成功すれば人の間に立ってトラブルを解決し財を手にする。

部分格～19.天干一氣格(てんかんいっきかく)

③土性天干一氣格

【条件】

- 宿命の天干が、全て土性になる人。

[戊 戊 戊] ←天干が土性のみ
 申 戌 子

【現象】

- 精神が引力にまとまっている。
- 物質を引き寄せる意識が強く出る。
- 温厚誠実な人柄となる。
- 判断しない人。
- 明確な境目を持たない、受容できる人。
- 他の格と比較して、質があまりはっきりとは出にくい。

部分格～19.天干一氣格(てんかんいっきかく)

④金性天干一氣格

【条件】

- 宿命の天干が、全て金性になる人。

[辛 辛 庚] ←天干が金性のみ
巳 未 申

【現象】

- 精神が攻撃にまとまっている。
- 自分を行動させる意識が強く出る。
- 人の上に立つと成功しない。
- 参謀・補佐役として大成する人となる。
- 単独の行動となり、人を使うよりも自分で動いてしまう。
- トップになると苦労が多い。

部分格～19.天干一氣格(てんかんいっきかく)

⑤水性天干一氣格

【条件】

- 宿命の天干が、全て水性になる人。

[癸 癸 癸] ←天干が水性のみ
亥 丑 亥

【現象】

- 精神が習得にまとまっている。
- 思考することに意識が強く出る。
- 思考力は最高だが、実行力に乏しい人。
- 学者・芸術家の世界で大成し易い。
- ビジネス世界であれば、経営企画や知的産業で成功する。

部分格～20.地支一氣格(ちしいっきかく)

【条件】

- 宿命の地支が全て同じ質になる者。

【現象】

- 入格すると、行動に一貫性はあるが、考え方がちぐはぐとなり、思考のまとまりに欠けるようになる。
- 行動力に対して、思考が付いていけない人となる。
- 地支の偏りを所有して生まれたということは、母親に原因があり、偏った母親からは、偏りのある子供が生まれる。
- 母方からの因縁を受けている。

参考

天干 = 精神・空間・父

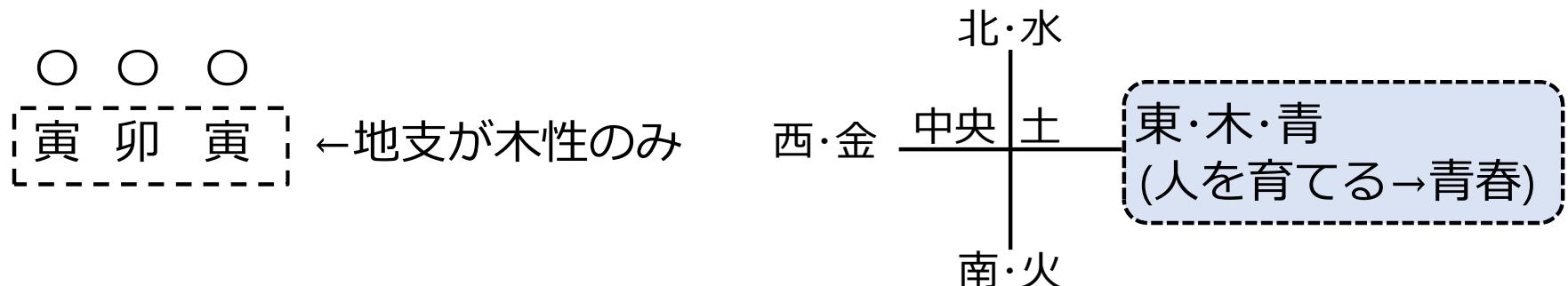
➡ 地支 = 現実・時間・母

部分格～20.地支一氣格(ちしいつきかく)

①木性地支一氣格

【条件】

- 宿命の地支が、全て木性になる人。



【現象】

- 行動が守備本能に偏っている。
- 常識的な家庭から、ある種の突然変異的に生まれやすい。
- 人を育てる能力は高いが物事をまとめあげる能力は出にくくなる。
- 先祖に異常者(本当の精神病)や犯罪者が居たり、血族結婚で生まれたりする。

部分格～20.地支一氣格(ちしいっきかく)

②火性地支一氣格

【条件】

- 宿命の地支が、全て火性になる人。

○ ○ ○
[午 午 午] ←地支が火性のみ

【現象】

- 行動が伝達本能に偏っている。
- 未来を見通す才覚がある。
- 温情はない。従って金融業等で活躍する。
(温情が強いとできない業界であるから)
- 利益を得る先見の明あり。

部分格～20.地支一氣格(ちしいっきかく)

③土性地支一氣格

【条件】

- 宿命の地支が、全て土性になる人。

○ ○ ○
[戌 丑 未] ←地支が土性のみ

【現象】

- 行動が引力本能に偏っている。
- 内部に様々な宝(鉱物資源)を所有している。
- 人を育てるにかけては旨い人。
- 天干に、水・火・木がバランス良く揃うと完全な教育者となる。

部分格～20.地支一氣格(ちしいっきかく)

④金性地支一氣格

【条件】

- 宿命の地支が、全て金性になる人。



【現象】

- 行動が攻撃本能に偏っている。
- 自分自身の性格のバランスが保ちにくい人。
- 攻撃精神が旺盛だが、表面に出せないことがあり、前進力を発揮できない環境では、ノイローゼになったりする。

【改良】

- 未開地・農村・閑村に行って救われる。とにかく、身体を動かすことで、ノイローゼや鬱を回避できる。

部分格～20.地支一氣格(ちしいっきかく)

⑤水性地支一氣格

【条件】

- 宿命の地支が、全て水性になる人。

○ ○ ○
[亥 子 亥] ←地支が水性のみ

【現象】

- 行動が習得本能に偏っている。
性格が陰気になりやすく自己の主張を人に押し付ける傾向が出る。複雑な家庭の意味合いが最も強く、母親の複雑な生き方を因縁で受け継ぐ人。



オープンに出来ない状態

- 再婚後に先夫の子供があつて生まれた子供、または子孫
- 未婚の母親から生まれた子供、または子孫
- 複数以上の男性と付き合っていながら生まれた子供、または子孫